

# 研究者育成事業

科学技術振興調整費に採択！

## 自立的若手研究者育成

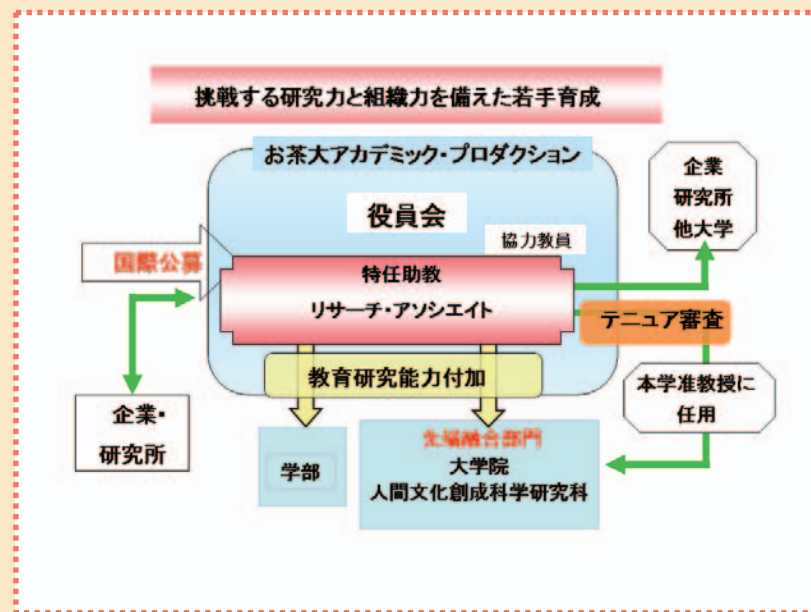
お茶大アカデミック・プロダクション

お茶の水女子大学では、先端的研究に挑戦する若手研究者の自立を促す新たな取り組みを開始します。

平成19年度科学技術振興調整費<若手研究者自立的研究環境整備促進>事業に、お茶の水女子大学が提案したプログラム「挑戦する研究力と組織力を備えた若手育成」が採択されました。

このプログラムでは、「お茶大アカデミック・プロダクション」を新たに組織することによって、お茶の水女子大学が重点化する新たな分野に挑戦する若手研究者を、テニュア・トラックに適するように育成することを目的としています。

高度な研究力、実践的な教育力、実質的なマネジメント力を備えた自立的人材を育成し、世界的研究拠点の形成をめざします。



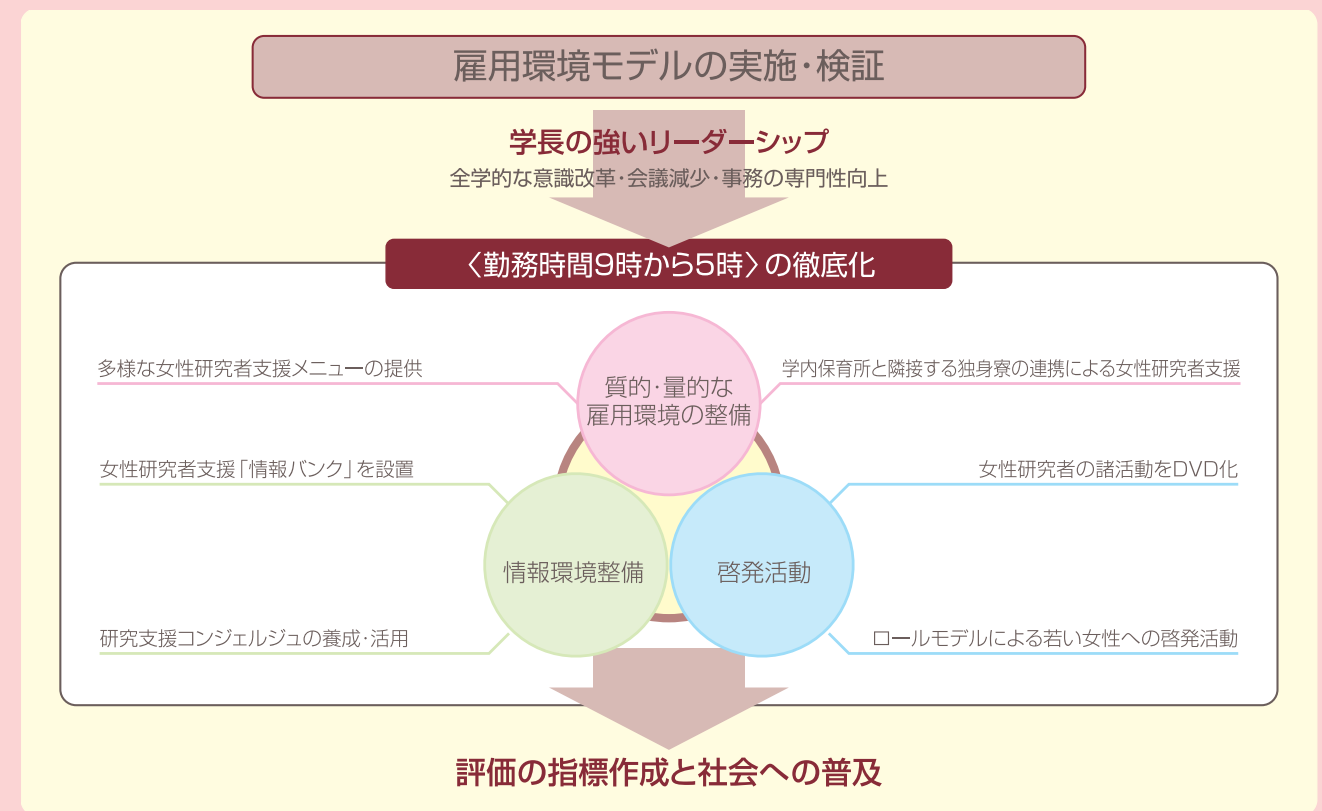
挑戦する研究力と組織力を備えた若手育成

## 女性研究者育成

女性研究者に適合した雇用環境モデル

昨年に引き続いて、科学技術振興調整費「女性研究者に適合した雇用環境モデル育成」事業を実施しています。

その主な要素は、子育て中の女性研究者（5名）をモデルとして支援メニューを検討・検証すること、女性が研究を継続するために必要な情報を蓄積し提供すること、ロールモデルのDVDを作成して啓発活動を行うことです。計画の中にある「勤務時間9時～5時」の徹底が注目されています。



この事業の一環として、6月20日（水）には、郷学長も出席し、パネルディスカッション「女性が仕事を続けるには？」が行われました。

本学出身の卒業生5名をパネリストとして招き、学生に身近なロールモデルの実体験を聞く貴重な機会となりました。



質問に答える卒業生パネリスト

研究者育成事業  
科学技術振興調整費に採択！